

## 枚方市障害福祉計画（第6期）枚方市障害児福祉計画（第2期）

## 成果目標の進捗状況について

## ◆障害福祉計画（第6期）

目標とする項目	目標	実績	説明
(1) 施設入所者の地域移行者数 令和5年度末までに令和元年度末時点の施設入所者 180 人の 6%以上が地域生活に移行することとして見込みます。	11 人	15 人	令和5年度末時点の数値
(2) 施設入所者の削減数 令和5年度末までに、令和元年度末時点における施設入所者 180 人から 1.6%以上を削減することとして見込みます。	7 人	6 人	令和5年度末時点の数値
(3) 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築	充実	充実	自立支援協議会の精神障害者地域移行部会を協議の場として位置づけ、12 回の会議（うち 1 回は講演会実施）で、精神障害者の地域生活に向けた支援を検討した。
(4) 精神障害者の精神病床から退院後 1 年以内の地域における平均生活日数	316 日	324.3 日	令和 2 年度の数値
(5) 令和 5 年 6 月末時点の精神病床における 1 年以上の長期入院患者数	227 人	214 人	令和 5 年度の数値
(6) 精神病床における早期退院率 入院後 3 か月時点	69%	67.8%	令和 2 年度の数値
(7) 精神病床における早期退院率 入院後 6 か月時点	86%	82.9%	令和 2 年度の数値
(8) 精神病床における早期退院率 入院後 1 年時点	92%	89.6%	令和 2 年度の数値
(9) 福祉施設から一般就労への移行数 令和 5 年度における目標数値。令和元年度の 1.27 倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	105 人	96 人	令和 4 年度の数値
(10) 就労移行支援事業を通じた一般就労への移行数 令和元年度の 1.3 倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	60 人	66 人	令和 4 年度の数値

目標とする項目	目標	実績	説明
<b>(11) 就労継続支援 A 型を通じた一般就労への移行数</b> 令和元年度の 1.26 倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	33 人	22 人	令和4年度の数値
<b>(12) 就労継続支援 B 型を通じた一般就労への移行数</b> 令和元年度の 1.23 倍以上を府域の目標として設定し、この目標数値を市町村ごとに按分された数値を目標として見込みます。	12 人	8 人	令和4年度の数値
<b>(13) 就労定着支援事業の利用率</b> 令和5年度における就労移行支援事業等を通じた一般就労への移行者のうち7割が就労定着支援事業を利用することを目標として見込みます。	7 割	6 割	令和4年度の数値
<b>(14) 就労定着支援事業による1年後の職場定着率</b> 令和5年度における就労定着支援事業で支援を開始した時点から1年後の就労定着率が8割以上の事業所が全体の9割以上となることを目標として見込みます。	9 割以上	5 割	令和4年度の数値
<b>(15) 就労継続支援(B型)事業所における平均工賃額</b> 令和5年度における目標数値。市内就労継続支援(B型)事業所37か所(令和2年4月1日現在)において設定された目標工賃の平均額 13,155 円に10%乗じた額を上乗せした額を見込みます。	15,000 円	12,272 円	令和4年度末の数値
<b>(16) 相談支援体制の充実・強化</b> 総合的・専門的な相談支援の実施及び地域の相談支援体制の強化を実施する体制を確保するため、令和5年度末までに、基幹相談支援センターを設置することとされています。障害者のニーズの多様化を踏まえ、きめ細やかで適切な支援のため、地域の実情に応じた関係機関の明確な役割分担と有機的な連携といった相談支援体制の充実・強化に向けて取り組みます。	充実	充実	地域の相談支援事業者に対する訪問等による専門的な指導 助言件数 34 件 地域の相談支援事業者の人材育成の支援件数 3 件 地域の相談機関との連携強化の取組の実施回数 13 件
<b>(17) 障害福祉サービスの質の向上を図るための体制構築</b> 令和5年度末までに、不正請求の未然防止等の観点から報酬の審査体制の強化等の取り組み、指導権限を有する者との協力連携、適正な指導監査等の実施に取り組みます。	充実	充実	障害福祉サービス等に係る各種研修の参加人数10人 審査支払等システム等での審査結果を分析・活用し、事業所や関係自治体等と共有する体制の有無及びそれに基づく実施回数 13 回 障害福祉サービス事業所等に対する指導監査の結果の共有回数 2 回

◆障害児福祉計画（第2期）

目標とする項目	目標	実績	説明
<b>(1)重層的な地域支援体制の構築</b> 市立ひらかた子ども発達支援センターを本市における発達上支援が必要な児童のため支援機関の拠点とし、同様に支援機関として事業を実施している市内の事業所との連携を通じて、重層的な地域支援体制の充実を図ります。	充実	充実	関係機関との連携を図りながら、障害や発達に関わる相談に幅広く応じる相談支援を行った。 延べ 1,353 件 保育所、幼稚園等への巡回相談・保育相談を行った。 延べ 1,306 件 保育所等訪問支援を実施。 延べ 6 回
<b>(2) 主に重症心身障害児を支援する事業所の確保</b> 令和5年度末における目標数値。児童発達支援、放課後等デイサービス事業所の設置状況を踏まえて見込みます。	児童発達支援 7か所 放課後等 デイサービス 9か所	児童発達支援 6か所 放課後等 デイサービス 12か所	令和5年度末の数値 重度の障害児の受け入れ促進の観点より、看護師を配置し、市内の医療的ケア児等を受け入れる市内事業所に対し、補助金を交付している。 令和5年度実績は1事業所に補助し、15人の医療的ケア児の受け入れにつながった。
<b>(3)医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置</b>	設置	設置	令和6年1月に医療的ケア児等支援連絡会議を開催し、医療的ケア児支援法の施行に伴う取組状況や支援における課題を議題として、関係機関との情報共有、意見交換を実施した。